



～ 貴重な財産を残すために～

16ミリ映写機操作技術講習会

県立生涯学習推進センター

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願っています。

56号の内容

16ミリ映写機操作技術講習会

家庭教育サポーター
ステップアップ研修会

津南町「なじよもん寺子屋」

お知らせ

1月の映画ビデオ鑑賞会
のお知らせ

「橋のない川」(139分)

平成15年度に、大好評を
いただいた作品のアンコール
上映です。

日時:1月22日(日)

午後1時開場

午後1時30分～上映

会場:当センター・ホール

入場は無料です。

*詳細は、ラ・ラ・ネットを
ご覧ください。

<http://www.lalanet.gr.jp/>

先日、神奈川県で保育士をしている方(新潟県出身)から電話で、「16ミリ映写機操作認定証」の再発行の依頼がありました。発行台帳を調べたところ、昭和45年に当センター(当時は県視聴覚ライブラリー)が発行した497枚の認定証の内一枚であることが分かりました。当県で35年前に取得した認定証が、他県で今なお有効に使われていることに感激しました。

当センターでは、「16ミリ映写機操作技術講習会」を高校教員、県行政関係者及び大学生等を対象に毎年実施しています。受講者は年々減少の一途をたどり、一昨年度が23名、昨年度が21名、そして今年度は10名にまで減少しました。操作が簡単で手軽なビデオやDVD、プロジェクターを考えると16ミリ離れは頷けますが、映像の鮮明さや色合いではフィルムに軍配が挙がるのではないのでしょうか。

当センターでは貸出可能な16ミリ



フィルムが1,800本、ビデオが1,200本ほどあります。タイトルや内容は、当センターが運営している生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」(<http://www.lalanet.gr.jp/>)で検索できます。御利用をお待ちしています。

なお、御利用いただける対象は、県立の施設、高等学校や大学等の登録団体です。なお、市町村立の学校や地域の団体等は、県内の地域視聴覚ライブラリー・センターを御利用ください。

～ 社会全体で子どもをはぐくむために～

家庭教育サポーターステップアップ研修会

県立生涯学習推進センター

この研修会の目的は、すでに地域で活躍している家庭教育・子育て支援リーダーの資質向上と家庭・地域の教育力の向上を支援する中核的人材の養成を目指すものです。

受講対象者は、当センターで実施した養成研修会の修了者で現在地域で活動している方と行政担当職員です。10月5日から12月にかけての5日間の研修に36名が参加してスタートしました。

グループワークトレーニングを通して、人との関わり方の基本姿勢を学びました。

事例紹介では埼玉・新座子育てネットワークや大阪・貝塚子育てネットワークの取組が紹介されました。さらに受講者同士の情報交換、産業カウンセラーのワークショップを実施しました。

最終日には30名の方に修了証が交付されました。今後、修了者間のネットワークをさらに広げ、地域における子育て支援の活動に研修の成果を発揮してほしいと願っています。

新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<http://www.lalanet.gr.jp/>

家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150
FAX:025-284-6019

生涯学習相談(兼新潟県体験活動等支援センター)

TEL:025-284-6119
soudan@mail.lalanet.gr.jp

1 はじめに

中魚沼郡津南町は、周囲の市町村が次々と合併していく中、独立した町づくりをしていくことを決めました。そのような中で、平成16年8月に町内に開館した「農と縄文の体験実習館 なじょもん」は、様々なテーマの企画展示を開催することで、より津南町の文化を広く伝えていくとともに、主に町民が講師となって町内外の子どもたちや親子連れ、お年寄りにいたるまで、様々な年代層への体験実習を行うものとしてスタートしました。なじょもん寺子屋は、この「なじょもん」を利用した自立した地域活動として、地域児童と住民がさらに一体となって、安全で楽しく学べる場として企画したものです。とくに、子どもたちの放課後の居場所として、様々な体験実習を行う場所を確保し、自己の可能性を引き出せる力を育む目的があります。さらに、学校との強い連携を図って、日々の活動が学校での学習に生かせるように心がけています。

2 活動の内容

なじょもん寺子屋での活動は、主に「昔のあそび」や「自然体験」、「手作り工芸」、「軽スポーツ」などが行われます。その対象となるのは、町内の小学校児童です。会場は、「なじょもん」を主な場所として、必要に応じて町内「総合センター」体育館が利用されます。

これらの中から、いくつかの体験実習内容を紹介します。

* 「昔のあそび」・・・「竹なんご」（講師：ならんごしの会）

竹なんごは、昔のあそびのひとつで、数え歌とともに竹の棒で手遊びをするものです。昔は、手作りの道具を使って様々な遊びをしたものだそうです。自分たちで考えて、いろいろなあそびを体験してみましょう。

* 「自然体験」・・・「水辺の生物」（講師：自然に親しむ会）

昔は、いろいろな種類の魚や水生生物がたくさんいた津南町ですが、最近はめっきり少なくなりました。それでも、町内はきれいな清水があり、まだまだいろいろな生き物が観察できます。さあ、アミもって・つかまえて・観察してみよう。

* 「手作り工芸」・・・「わら細工」（講師：わらの会）

昔は、冬のうちに「わら」を使って、履物など様々な身のまわりのものを作って、暮らしていました。すべては、自然にその素材が求められる手作りの生活です。今では使われなくなり、消えつつある技術です。みんなで体験してみよう。

これらの体験実習を通して、子どもたちは、外での遊び方や年代間の交流、そして古くから育まれてきた地域の文化を学び、自らの力としていきます。こうして、地元のお年寄りや大人たちから子どもたちへの技術や情報のバトンタッチがなされていきます。

3 活動の成果と課題

これらの活動を通して、町内生涯学習サークルや団体との連携、シルバー世代との連携を図るとともに、この中から指導者の育成を実現しつつあります。また、学校や家庭の理解と協力の中で、子どもたちへの様々な体験プログラムを作り出すことができました。

子どもたちは、この体験実習に参加することによって、異なる世代の子どもとふれあい、新しい人間関係を築きつつあるようです。また、自ら考えて物事に取り組む姿勢が見られるようになってきました。さらには、大人世代との交流から、社会におけるルールを身につける場としての側面も出てきました。

今後は、講師体制の更なる充実を図るとともに、児童への安全体制の整備が課題となってきています。

